

## 製品・サービス動向-国内

■キヤノン IT ソリューションズ：Web 会議システム「IC<sup>3</sup>」の新バージョンを発売、複数のカメラ入力を合成して送信する機能など。

(7月30日)

キヤノン IT ソリューションズ株式会社 (<https://www.canon-its.co.jp/>) (東京都品川区) は、Web 会議システム「IC<sup>3</sup>」の新バージョン (IC<sup>3</sup> Ver.11.05) を7月30日より発売する。

新バージョンでは、一つの拠点で最大4本のカメラ入力を取り込み、一つに合成して送信することができる機能を加えた。会議・セミナー・研修・教育などの場面で、参加者の表情だけでなく、ホワイトボードや手書きしたイメージ図など、同時に複数の視点からの情報を発信できるようになった。一度に伝える情報を増やすことで、より対話しやすいコミュニケーション環境を提供できる。



複数のカメラ入力を合成して送信  
(キヤノン IT ソリューションズ)

2点目の機能追加としては、プレゼンテーション用の新レイアウト。発表者と聴き手を分けて表示できるレイアウトデザインを追加。「セミナーモード会議室」では、「議長」拠点による他拠点の映像・音声のオン・オフ制御、チャット、参加者情報確認を同じ画面上から行えるようにして、操作性を改善した。

3点目の機能追加は、ゲスト利用者の参加名を主催者が管理可能になったこと。システムにID登録されていない利用者をゲストとして参加させるための招待機能を強化した。Web 会議主催者がゲストの表示名をあらかじめ設定できるようになった。複数のゲストを招待した際の管理効率化や匿名性の確保が可能になった。

IC<sup>3</sup> Ver.11.05の初期費用は10万円から。またサービス年額費用は100万円からとなっている。ただし、10同時接続端末分のサービスを1年間契約した場合の価格で、同時接続する端末数により異なり、契約は1年単位となる。オンプレミスタイプもある。

## ■バイキューブ：テレコミュニケーションブース「テレキューブ」の2人用を販売開始

(7月18日)

株式会社バイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、「ビジネスパーソンが安心して働けるセキュアなワークスペース」をコンセプトにしたテレコミュニケーションブース「テレキューブ(2人用)」を販売開始する。

テレキューブは2017年8月に発表した新しいテレ

コミュニケーションブース。働き方改革が進み、テレワークも普及する中で、「話すコミュニケーションの場が不足している」という課題を解決する目的で開発したが、導入した企業を中心に2人で利用できるテレキューブに関する要望が多くあったという。



右が新しく発表するテレキューブ（2人用）、左はテレキューブ（1人用）（ブイキューブ）



使用イメージ（ブイキューブ）

それに加え、特に最近では、働き方改革のための人事制度の整備が進み、それと関連した人事評価面談や1on1ミーティングでの目標設定、成果確認など「1対1のコミュニケーション」の需要が増えているという。社内の会議室不足に悩む企業も多く、「1対1のコミュニケーションの質と量を確保する」という新たな課題

も生まれたと指摘する。

これを受けて、今回発売を開始するテレキューブ（2人用）では、プライバシーとセキュリティが確保された環境の中で、周囲を気にすることなくコミュニケーションすることが可能になるとしている。

テレキューブ（1人用）は1人での電話やWeb会議、ちょっとした作業スペースという用途向け。一方、テレキューブ（2人用）は1人用の用途に、短い打ち合わせや面談といったオフラインでの使い勝手の良さが加わっている。サイズは幅1880mm x 高さ2210mm x 奥行1120mm。重量は約380kg。オプションでテレビ会議との接続が可能となっている。

ブイキューブは顧客のニーズに沿って、テレキューブ（1人用/2人用）をはじめとしたさまざまなソリューションを提案し、組織ならびに個人にとって働きやすい環境を提供していくとしている。

※関連記事：2017年8月15日号掲載。

## ビジネス動向-国内

### ■プリンストン：ドルビーラボラトリーズとの国内代理店契約を締結

（8月8日）

株式会社プリンストン (<https://www.princeton.co.jp/>)（東京都千代田区）は、ドルビーラボラトリーズ (<https://www.dolby.com/jp/ja/index.html>)（米国・カリフォルニア州）が提供する電話会議製品の国内代理店契約を締結した。

この契約締結により、今後、プリンストンはドルビーがグローバルで提供している高品質な音声会議システムを、協業するサービスプロバイダー並びにシステムインテグレーターを通じて国内提供が可能になる。

ドルビーの電話会議システムは、「Dolby Voice（ドルビーボイス）」に対応しているため、非常に音声品質が

高く、会議室で電話会議を利用するときの雑音除去や集音性能などクリアな音声に特長がある。また、本製品から直接音声会議接続サービスに接続できる使いやすさも兼ね備えている。

ドルビーラボラトリーズは、「Dolby Vision」、「Dolby Atmos」、「Dolby Cinema」、「Dolby Voice」、「Dolby Audio」など音響と映像の科学技術から劇的な体験を創り出してきた。サンフランシスコを拠点とし、世界 20 か国以上にオフィスを展開している。

## ■ブイキューブ：ケアネット、T-ICU と 3 社が遠隔集中ソリューションで業務提携

(7月17日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、遠隔集中治療ソリューション分野において、株式会社ケアネット (<http://www.carenet.com/>) (東京都千代田区) および株式会社 T-ICU (<http://t-icu.co.jp/>) (兵庫県芦屋市) と 3 社が業務提携を行った。



### 業務提携の概要 (ブイキューブ)

T-ICU が提供する専門医による遠隔集中治療ソリューションを、医療情報サイト (20 万人を超える医療従事者が利用している。) を運営するケアネットがセールスとマーケティングの面から、ブイキューブが遠隔ビジュアルコミュニケーションシステムの面から、それぞれの強みを活かしてサポートし、全国的に遠隔

集中治療ソリューションの提案・早期普及を図っている。7月17日付けで「業務提携契約」を締結した。

重症患者管理は集中治療専門医の関与が大きいほど診療成績が良いと報告されている。しかし、日本では専門医の絶対的・相対的不足から、集中治療専門医が全く勤務していない施設も多数存在している。そういった中、専門医が、たとえ病院にいらなくても、遠く離れていても、さまざまなコミュニケーションツールを使って遠隔で治療に関与することができないかと考えられたのが遠隔集中治療。

専門医ではない医師が集中治療の診察に関わらざるを得ない現場・状況を医師として立ち会ってきた代表の中西氏が、その解決方法として 2016 年に遠隔集中治療を主な事業として 2016 年に T-ICU を立ち上げた。集中治療専門医がチームとなり、遠隔から 24 時間体制で生体情報 (心電図、X 線、採血データなど) を監視し、早期に的確な治療方針を提案することにより、重症患者を急変させることなく、予後の改善をサポートすることができるのではないかと考えた。

3 社は、今後遠隔集中治療が発展・普及すれば医療の地域格差は緩和され、より多くの重症患者を救うことにつながるのではと期待している。

## ビジネス動向-海外

### ■Pexip 社：Google Cloud とのパートナーシップ発表、「Hangouts Meet」と SIP/H.323 ビデオ会議システムとの相互接続が実現

(6月4日)

Pexip 社 (<https://www.pexip.com/>) (米国・ニューヨーク) は、Google Cloud (<https://cloud.google.com/>) とのパートナーシップを発表した。

これにより、G Suite で提供されている「Hangouts Meet」と、シスコシステムズやポリコム製端末あるいはマイクロソフトの「Skype for Business」などといっ

た SIP/H.323 ビデオ会議システムとの相互接続が実現する。Pexip 社が提供している「Pexip Infinity クラウド エンタープライズ アプリケーション(version19)」が、それぞれの端末間のビデオやコンテンツのトランスコードを行うことで相互に通信が可能となる。

※関連情報：Day 2 Keynote: Bringing the Cloud to You (Cloud Next '18)

<https://www.youtube.com/watch?v=XiGBWpxc6Lc&feature=youtu.be&t=11m3s>

## PR

(広告掲載順)

### ■ヤマハ株式会社

USB スピーカーフォン FLX UC 500

[https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/flx\\_uc\\_500/index](https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/flx_uc_500/index)

## セミナー・展示会情報

### <国内>

#### ■ブイキューブセミナー情報 (8月～10月)

「災害現場の今を共有出来ていますか？災害発生の混乱時、意思決定のスピードと質を向上」、「働き方改革セミナー 失敗しない「Web 会議」「テレビ会議」選び方徹底解説」、「2分でかんたん動画作成 社内動画活用で働き方改革を推進！」など

会場 (東京・大阪・名古屋・仙台・札幌・福岡・Web セミナー)

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

#### ■働き方改革 (ワークスタイル変革) 実践事例セミナー ～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめる働き方改革～

日時：9月19日(水) 14:00～16:00 (受付：13:30)

会場：リコージャパン 晴海トリトン事業所

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.rioh.co.jp/event/seminar/18K279.html>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

## 業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回(プレスリリースと取材に基づく記事)ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

#### ■フェイスブック (遠隔会議&UC トレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

#### ■Twitter (CNA レポート・ジャパン)

<https://twitter.com/cnarjapan>

#### ■メーリングリスト (dtc-forum)

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

## 定期レポートバックナンバー

#### ■PDFファイル版 (1号毎PDFファイル)

>2003年～2018年最新号 (1号毎PDFファイル)

<http://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

#### ■電子ブック版 (複数号まとめているのもあります)

>2003年-2013年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)

>2014年-2017年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_ebook/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/)

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

### CNAレポート・ジャパン 2018年8月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：[cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)